

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課
電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所
電話(018876) 2430番
一部 5円 郵便番号 018-17
毎月 1日・15日発行

ひとみの輝きは子供の命



こどもの日

小さくなりし靴いくつ

(翔)

(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

太陽のかげり忘れる

五月五日は、従来男の子の成長をお祝いする日であったが、こどもの日と定めてから、すべての子供の将来を祝い、幸せを願う日となっている。つまり端午の節句よりもさらに幅を持たせている。

このごろの子供たちを見てみると、与えられる生活に慣れきっている。子供は元来遊びの天才であるはずなのに、その道具をまず与えられる。自分の創意工夫で小道具を作る喜びを知らない子供が多すぎる。

そして遊びの広場である。時代が変りすぎて比較にならないかも知れないが、その昔は、自分たちの住んでいる自然環境がすべて子供たちの遊び場所であった。春ともなれば、がき大将を先頭に竹の子やわらびとり、その帰りに、沢の小がにを捕えるのに太陽のかげりも忘れるほどであった。

山の田んぼに住むイモリは、子供たちにとっては初の怪獣との出会いであったり、自然の営みは尽きない興味を持たせてくれた。

ともに汗して遊びの場を

現在の状態をみると大分様子が変わってきている。時代の流れといえはそれまでだが、私たちの部落に子供の広場を造ってくれとする要求が多い。予算もなし、用地もなし、部落会なりの努力なし、なしの一手で広場を造ろうとする考え方にいろいろ問題が含まれているように考えられる。小さくてもよいから子供と一緒に汗して造る努力が先決なようだ。

子供たちの身心の発達には、いつでも決っていない。それが家庭であり、学校であり、特に遊びを中心にした日常の行動の積みかさねの中で、その人生の基礎が形成されていくものとみられている。

子供の自主性を育てたい

P.T.A.が名譽職のかけ引きの場であったり、子供会が親の相談ですすめられる親の会であったり、子どもを餌食(えじき)にする組織であったりしてはならない。子供たちが勝手に集まり、遊びの中で取ったり取られたりの勝負する、おとなから独立した存在を尊重し、彼らの世界を見守っていくのが、いろいろな組織の役目ではないだろうか。健康で輝かしいひとみの子供たちが、この町に一人でも多く育つことを祈りたい

町内会長 合同会議
町政協力員

国際児童年にちなみ

町の施策を総点検

道路・水路に要望集中

昭和五十四年度町内会長、町政協力員合同会議は、四月二十四日午前十時から町民センターで行われた。当日はあいにくの雨であったが、各町内から関係者九十三名が出席した。

午前中、部課室長の自己紹介に続いて、加賀谷町長から五十四年度の町政運営内容と、各課室からの連絡事項の説明があった。その中で加賀谷町長は、町民福祉の増進、生活環境の整備、産業の振興、道路網の整備促進、教育の振興の五重点を重点におき、各種施策の総合的な推進を図ると述べた。

また今年度から開設した大川の環境改善センターにふれ、現在の大川出張所をこのセンター内に移すことを明らかにするとともに、地域住民の協力をお願いした。

昼食後、安東町内会長を議長として、町に対する各町内からの意見や要望がだされた。二十一人の方々が次々に発表し、予定した二時間がたりないほどであった。そのおもな発表内容は次のとおりである。(文中敬称略)

バス停に町行事の掲示板を

▽嶋崎 正三(新畑町)

①町民センターや広域体育館で行われる行事が、他町村から来た人にもわかるように、おもなバス停に掲示板を設置したらどうか。

②町の観光発展のため、観光協会と関係する町予算をもっと増額したらどうか。

・企画部長
戸村堰の改修工事は、県の方で行っている事業である。町ではこの工事によってあまった土地を活用するため、水路を片側に寄せてもらった。あまった土地は町に払い下げてもらい、道路にする考えを持っている。現在町の計画とあわせながら県と話し合っている。

・建設課長
行事のあるときは、町広報やローカル新聞等でアピールしている。また、中央交通の駅舎改築にともない、待合室にそのような掲示板を設置するためのお願いをしている。

・町長
音楽鑑賞会、お花見その他直接ではないけれども、スキー場を整備したり、いろいろ配慮しているつもりである。関係者とよく相談して要望にそうようにしたい。

戸村堰の
残地を道路に
▽荒川善一郎(田町)

①戸村堰の改修によって生じた土地を道路にしたい。

②小学校通りに側溝と外燈をつけ

てもらいたい。

③小学校下の新開地の路地と田町



町政運営内容を説明する加賀谷町長

歩道をつける。それにあわせて歩道の横に側溝がつくことになる。また右側の方も五十四年度に側溝を入れたと思う。

の集会所の付近を舗装してもらいたい。

小学校下の新開地の路地は私道であるので、町では手をかけていない。町道にするには認定の手続きをとらなければならない。その場合、除雪などの関係から道幅は四倍以上必要と考えている。そのため道路敷地を町に提供するというのもひとつの条件になる。田町の集会所付近の舗装については、後に現地を調査して善処したい。

・総務部長
電々公社では、切り替えの目処を二月において作業をすすめている。切り替えは馬場目、富津内、内川地区をいっせに行う。そのため無人交換局は、馬場目の小野台と内川の湯ノ又の入口に建てることに決まっている。

・建設課長
水路にガードレールのような安全さくをつけるよう県に要望している。今年度中に一部につけるようである。町自体でも危険な所には対処していく考えている。また学校等にも呼びかけ、事故のないようにしたい。

・管財課長
昨年、学校前にたくさん家が建ったので、そこに新しく外燈を設置したが、年間に設置する予算がかざられているので、外燈設置の申請書と見取図を管財課へ提出してもらいたい。みなさんの申請書にもとづいて重要な箇所から設置していく。外燈を新設する場合、一燈の工事が二万一千円であるが、地元がその工費の三分一を負担しなければならない。

・管財課長
①私たちの部落と八郎湯町の境界線が問題になっている。私が五十一一年にこの会合でこの件を質問して以来、町ではどのような処置をとってきたのか。

・企画部長
水路にガードレールのような安全さくをつけるよう県に要望している。今年度中に一部につけるようである。町自体でも危険な所には対処していく考えている。また学校等にも呼びかけ、事故のないようにしたい。

・管財課長
②八郎湯局の管轄である面湯地区は、郵送された町広報が三日かかって町政協力員に配達される。地域の役場職員が協力員に手渡すようにしたらどうか。

・管財課長
③ゴミ焼却場では粗大ゴミを野焼きしているの、付近の住氏は迷惑している。

・建設課長
児童館後の水路は、下水ではなく用水であるので、水利組合とよく協議して善処したい。

・管財課長
農集電話の切り替えは

・総務部長
道路とか水道など個々の分野に

・建設課長
水道施設の見直しは

▽佐藤安太郎(中村)

▽畑沢 市郎(湯ノ又)

①浅見内、湯ノ又地区では水不足で困っており、住民は公営の水道を希望している。水道施設の作業はどのような見通しで行っているのか。

①林道ができたのでいろいろな人たちが山に来るようになった。このような人たちに對して、部落民が山火事の防止や環境の保全を注意指導しやすいように、身分証明となる町の腕章を配布してほしい。

・民生部長
②湯ノ又の川向いへ行く土橋が老朽化している。半永久的な橋にかけることができないか。

③湯ノ又川向いの道路を拡張する場合、もし部落で道路用地の見通しがつかば、それを行う計画があるか。

②農集電話(地域集団電話)がまだ普通電話に切り替わっていない地域があるが、切り替えはいつごろか。

・民生部長
④湯ノ又の公民館前にある子どもの遊び場の管理者はだれか。

・管財課長
腕章の件は、よいアイデアなので、この後よく検討しながらそのようにすすめてみたいと思う。

・産業課長

・民生部長

・管財課長

・助 役

水道施設において一番大きな問題は、水源をどこにするかということだ。現在その見通しがまだでない。今年度の眼目としてその水源を確保したいと思っている。

・建設課長

湯ノ又の川向い線を拡張する場合、地形を考えると両方に等分にわけあって道路をもっていくことはできないと思う。したがって、その土橋の位置も、拡張する道路の線形を考慮して決めなければならぬ。できればなにかの補助事業で行いたいと考えているが、補助事業をいただくには時間がかかる。町単独で行う場合にしても、予算のわくなどがあるので、いつ行うということは断言できない。しかし、あのような状態にしておくことはできないので、部落内の話し合いの進展状況にあわせて考えていきたい。

・住民課長

遊び場の管理は町で行っている前日、係が町内の遊び場を巡回している。

・転作しない人の処置は

▽館岡 春男(上高崎)

①昨年転作しなかった人に対し、町ではどのような処置をとるのか。

・産業課長

昨年転作をしない人には、今年に昨年の分を計算しお願いすることになる。自己開田した分があるということだが、実体をよく調査したい。

工場誘致の見込みは

▽安田 鶴治(黒土)

①部落に工場用地があるが、誘致

工場の来る見込みがあるのか。

・企画部長

不況などによって誘致できないのが現状である。しかし、大平首相が言っている田園都市構想、あるいは定住圏の問題を考えると、これからは中央の工場や官庁などが、地方に分散する方向にむかうと思う。工場誘致のため県や国を通じて働きかけているので、もう少し待ってほしい。

園児の送り迎えは保育園で

▽伊藤与四郎(上山内)

現在五城目保育園では、バス停までの園児の送り迎えを行っている。バス停と保育園間の送り迎えは、保育園の方でもらいたい。

・五城目保育園理事長

できるかぎり住民の方々の要望に従いたいと思う。

・民生部長

園児の送り迎えについて、町からも保育園へお願いしてある。今後、保育園の方とよく話し合って要望にそうようにしたい。

▽松橋正美(浅見内)

内川保育所の場合、バスを利用していない生徒については、グループを作って送り迎えしてはどうか。

▽田中喜美治(平ノ下)

馬場目保育所では送り迎えする時間を指定しているが、バス時間との関係で困っている。

・助 役

さっそく現状を再確認して、改良を加えるところは加えたい。おさない子どもは加えて、十分

に検討したい。

・町 長

今年は国際児童年である。そういう見地から町の施策を全部洗い直して、総点検したいと思っている。年度当初には内部打ち合わせしており、いづれみなさんの代表の方たちに意見を聞いたり、お願いしたりすることになると思う。今、幼児教育に関していろいろ問題が提起されている。たとえば保育園は、児童が足で歩ける範囲に分散すべきだという意見があるが、スクールバスを有効的に活用して、もっと集中すべきだという意見もある。このような中で、町ではできれば今年度中に、次のことについて方向づけをしたいと考えている。それは乳児保育をどうするか、町でとりあげることかどうかということ、幼稚園と保育園との関連をどのように受けとめていくかということである。

このことについて百人ひとりひとりみな立場が違うので、全員が満足する結論づけはできないと思う。それでこの方面に関心のある方々に意見を集約してもらい、それを最大公約数として、来年度から対処していきたいと考えている。しかし、これはたいへん大きな問題なので、今年度中に結論づけできるかどうか、ここで断言できないし、また断言できるとしても、来年度からすぐに実現するというものでもない。方向づけをしながら三年なり五年なりの中で実現していく心積りでいる。きょうお集まりのみなさんから、地域の方々にこのことを伝えてもらい、より多くの方々の意見を反映した結論づけをしていただきたい。

幼児教育はむしろ義務教育よりも大切だと思っている。それぞれ

みなさんからご助力いただき、大切な子どもさんを立派に育てていきたいと考えている。

通学路の農道に砂利を

▽佐藤 良治(西野)

①西野入口の基地のところから西野矢崎崎線に通ずる農道が、高校生の通学路となっている。町でこの農道に砂利等の供給ができないか。

学時に混雑する。町道であり片側が農村改善センターの町有地であるので、道路を拡張することはできないか。

・助 役

センターの環境整備から入って下樋口の道路も直さなければいけないという方向で、現在検討中である。

粗大ゴミの収集を望む

▽阿部 昭(富田)

①粗大ゴミの収集を町で行ってほしい。

・民生部長

粗大ゴミの収集は現在しておらず、今後、粗大ゴミについてもいろいろ検討して、みなさんの意見にそうよう頑張りたいと思う。

・菅原 信夫(岩城町)

岩城町のいこいの森入口付近にゴミが捨てられているので規制してほしい。

・民生部長

話は聞いている。立て札を立てて不法投棄をやめるよう呼びかけたが、その立て札もゴミといっしょに投げ捨てられる現状だ。それが捨てるかわからないので、その実体をよく調査する。

新町に防火栓の新設を

▽渡部 正蔵(新町)

①新町には防火栓が二カ所にあつたが、現在一カ所しかないの

一カ所新しく設置してほしい。

・消防署長

新町の防火栓は、中央線が完成しておらず、この工事の進行状況とあわせて、従来どおり元の所に設置する考えである。

▽加藤 忠仁(曙町)

①今年の一月に曙町に加入した石崎地域のゴミを収集してほしい。
②子どもの遊び場となっている空地のわきの水路を、危険のないようにしてほしい。

・民生部長

曙町に新しく加入した地域がはつきりしないので、現地を確認して対処する。

・産業課長

現地を調査して、用排水路であれば大川土地改良区と相談して善処する。

水沢の環境整備が遅れている

▽越前 儀市(水沢)

①水沢部落の人口が年々少なくなっているのは、環境整備の遅れが原因ではないか。

・建設課長

水沢部落の道路整備は、まったく行われていないような状況である。県道から部落まではモデル事業で、部落内については建設課で担当しなければならぬ問題である。道路を整備するにあたって問題になるのは用地である。これを部落で解決していただければ、それなりに早くすすめることができる。

建設課では今年度中に測量等をしてみたいと考えているので、用地の方をよろしく願います。



町内会を代表して意見を述べる嶋崎さん(新畑町)

ママさんコーラスクラブ

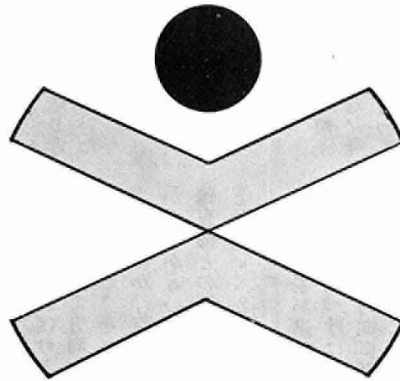
- ▷ 期間…5月～2月 第1, 4 土曜日
- ▷ 場所…町民センター 午後1,30分～4,30分
- ▷ 内容…フォークソング、なつかしのメロディ
文部省唱歌、外国民謡、日本民謡、
ヒットメロデー等
- ▷ 対象…町内一般家庭婦人50名
- ▷ 申し込み…電話でも可、5月20日(日)まで

五城目家庭教育学級

- ▷ 期間…6月～2月 月平均1回
- ▷ 場所…町民センター
- ▷ 内容…子どもの成長を見ながら家庭がはた
す教育的作用を考え子どもの心身の
発達について学ぶ。
- ▷ 対象…全町内小学校1年～3年生を持つ母
親対象
- ▷ 定員…50名
- ▷ 申し込み…5月31日(木)まで

高齢者体力づくり教室

- ▷ 期間…5月～2月毎月下旬(休
年10回14時～16時)
- ▷ 場所…広域体育館 他
- ▷ 内容…室内運動、民謡、ゲー
トボール他
- ▷ 対象…60才以上の男女
- ▷ 定員…50名
- ▷ 申し込み…
5月21日(月)まで



ひとり1スポーツで
体力づくりを!!

婦人健康教室

- ▷ 期間…Aコース (39歳まで)
6月5日(火)～11月27日(火)
毎週(火)14時～16時(年17回)
- Bコース (59歳まで)
6月～2月毎月下旬(休
年10回 14時～16時)
- ▷ 場所…広域体育館
- ▷ 内容…室内運動、ダンス、球
技、その他
- ▷ 申し込み…5月31日(木)まで

スポーツを楽しむ日

(毎週水曜日)

- ▷ 期間…6月6日(水)～2月27日(水)
- ▷ 時間…・10.00～12.00 (高齢者)
・14.00～16.00 (婦人)
・18.30～20.30 (青壮年)
- ▷ 内容…体操、各種トレーニング、球技、弓道
剣道 (グループ歓迎)
- ▷ 場所…広域体育館
- ▷ 申し込み…5月19日(土)まで

スポーツ指導者講習会

- ▷ 期日…6月9日(土) 13.30～17.00
- ▷ 場所…広域体育館
- ▷ 内容…講話 (プログラムの作成、その他)
実技、室内レクリエーション、各種
トレーニング法、健康体操
- ▷ 対象…町内部落会代表者、各種団体代表者
による。
- ▷ 申し込み…6月4日(月)まで

花いっぱい運動へ参加してみましょう



- ▷ 期間…6月～10月
- ▷ 対象…町内部落会、学校、職場、各種団体、グループ
- ▷ 内容…美しい生活環境づくりのため、全町民が一体となり
花いっぱい運動を展開します。

- ①草花苗の無料配付 ②草花苗の銀行開設 ③花だんコンクール
- ④講習会と現地指導 ⑤先進地の視察研修会



54年度の社会教育

教室、講座、学級の募集案内

学ぶ輪が

ひとりひとりを

むすぶ輪に

- 健康で明るい創造性をもつ幼児学習をひろげよう
- たくましい未来をつくるために青少年学習を伸ばそう
- 郷土の発展につとめる成人学習を深めよう
- うるおいのある高齢者学習をもりあげよう

どんぐり放送利用グループ

- ▷期間…6月1日～3月31日
 (月)11.20分～11.50分 教育テレビ
 15.35分～16.05分 総合テレビ
- ▷内容…週一回自分でテレビ視聴し、年4回の集合学習をおこない、時には移動研修もします
- ▷対象…町内保育所、園、幼稚園児をもつおかあさん方。
- ▷申し込み…5月21日(月)まで

申し込みは

五城目町公民館

五城目町上樋口字堂社75
 ☎ (018876) 4411(代)



陶芸教室

- ▷期間…6月5日(月)～7月31日
 今年も町民講座の一つとして陶芸教室を開き楽焼きのつくり方、作品の鑑賞と創作の指導をおこないます。
- ▷定員…20名定員になり次第締切ります。
- 申し込み…5月25日(金)まで



家庭料理教室

- ▷期間…4月～2月(場所 町民センター)
 第3土曜日午後1時30分 Bコース
 第4土曜日午後1時30分 Bコース
- ▷内容…家庭料理中心、実習、試食、移動研修、マナー学習
- ▷会費…実費負担
 ※今年度は募集締切りました。すでに活動しております。



8月1日→3日

少年キャンプのつどい

10月7日と10日予定

体育の日スポーツ大会

10月31日→11月4日予定

産業文化祭

日赤の新社員募集します

～募金にご協力を～

五月一日から一カ月間、全国一斉に赤十字募金運動が行われるが、日本赤十字秋田県支部五城目町分

区(分区分長加賀谷力司)でも、これと併せて町内のみならず、次々容で協力をおおぎたいとして、多数の方々のご参加とご協力方をお願いしたいところである。

五、社員証の配付

(一世帯当平均三八〇円) 新社員については、金額納入後に社員証を配付する。

六、その他

不明な点、その他疑問な点については、社会福祉協議会(電話二七六八番)にお問い合せのこと。

災害救護活動の強化など

日赤秋田県支部では、五十四年度に募金したお金の使途について

全町植樹祭

二百三十名が杉を植える

四月二十六日午前十一時から馬場目阿仁又沢の国有林で、町、五城目町、同森林組合共催の全町植樹祭が行われた。

町植樹祭は今年が三回目、一回目は馬場目沢国有林に五百本の桐、二回目は富津内岩見沢国有林に七百本の杉苗が植樹されている。

今年も好天に恵れ町内外から招待者や林業関係者など約二百三十名が参加し、二十アールの面積に七百本の杉苗が参加者によって一時間あまりで植えられた。今回植樹された杉は六十年後に伐採される。最後に町長などが参加者を代表して

次のような重点事業計画をたてている。

・災害救護活動の強化(救護物資交付基準の増加、災害救援車の更新)

・赤十字奉仕団の組織強化

・青少年赤十字メンバーの増強育成

・赤十字家庭看護法、救急法、水上安全法の普及。

・救護看護の養成

・献血思想の普及と組織の拡充強化

・青少年赤十字の森

・赤十字思想の普及

記念標柱を建てた。また参加者には、植樹祭を記念してライラックの苗木が無料で配布された。

青空の下で

七百本の杉苗を植える



農作業の安全は

機械の点検から

いよいよ春の農作業も本格的な忙しさを迎えているが、年々農業機械などによる事故件数も増える傾向にあり、今年度も五月十九日までを春の農作業安全月間と定めて、次の事項を重点にした事故防止運動をくり広げることとしている。

一、作業前後には機械、施設を十分点検整備をして作業安全に努める。

二、トラクター、耕うん機の運転に当っては、踏切りおよび道路での運行に注意し、無免許および飲酒運転は絶対に行わない。

三、子どもや老人に対しては、機械や施設に近づけないよう安全配慮につとめる。

悩み、心配ごと

勉強、進学、自分の将来

―子供心の風景を探る―

五月五日は子供の日。いま子供たちは、何を考え、どんな将来の希望を持って勉強に、遊びに、毎日の生活を送っているのでしょうか。

昨年、総理府が全国の小学五、六年生と中学生を対象に行った世論調査「子供の意識」をもとに、子供たちの「心の風景」を探ってみました。

子供たちは、日ごろどんなことで悩んだり、心配したりしているのでしょうか。

子供たちの胸を痛める「三大悩み」ともいえるべき心配ごとは、一に「勉強のこと」、二に「進学(受験)のこと」、三に「自分の将来のこと」となっています。

街を自然を美しく

Smokin' Clean



日本たばこ産業株式会社

これらを学年別に見ますと「いま困ったり、心配していることは何か」との問いに、小学校五、六年生で二二%が「勉強のこと」をあげ、中学生では四五%が「進学(受験)」と答えています。

これらに次ぐ「悩み」として、小学生は「自分の将来」(一五%)、「進学(受験)のこと」(一三%)をあげています。

これが中学生になりますと「勉強」三九%、「自分の将来」二八%と、それぞれパーセンテージが高くなり、「三大悩み」は高学年になればなるほど、深刻になっている様子がうかがえます。

ちなみに、中学三年生では、約七割が「進学(受験)」問題で頭を悩めています。

このほかでは、小、中学生を合わせた全体で「おこづかいのこと」の二〇%に次いで「友だちのこと」「健康のこと」がそれぞれ一三%と続き、「父、母のこと」一八%は七番目にやと顔を出しています。

総理府世論調査

「子供の意識」から

冠婚葬祭の合理化を討論

町公民館が中心となる

ここ数年、社会の進展、生活様式の変化にともない、いろいろ新しい問題がでてきている。とくに最近の冠婚葬祭は、華美になる傾向があるようだ。このような風

音楽鑑賞会

琴丘町から特別出演

5月15日午後7時から五城目

五月十五日午後七時から五城目神明社神楽殿で、音楽鑑賞会が行われる。

本町の音楽は、四百余年の伝統を誇る民俗芸能である。この鑑賞会は今年で十一回を数え、音楽の保存と観光宣伝をかねて行われる恒例の行事である。また今年は琴丘町の中館音楽保存会が特別参加する。

春の交通安全運動

みんなですすめよう

5月11日～20日

五月十一日から二十日まで「春の全国交通安全運動」旬間です。町内のみなさんは、家庭で交通安全について話し合い、家族が外出するときは、交通事故に気をつけるよう声をかけてください。幼児の事故防止は、日常の保護者の指導が大切です。また、飲酒運転をさせないようにお互いに注意してください。

ドライバーのみなさんは、安全



家庭で交通安全について話し合いましょう

速度を守り、ゆとりのある運転を心がけてください。とくに子どもや老人に対する「いたわり運転」をお願いします。

●歩行者および自転車利用者にとくに子どもと老人の交通事故防止

は、自分から幼児の安全教育に必要な知識を高めるための研修会を行う。

②安全運転の確保とシートベルト着用の推進

・運転中にスクールゾーン内での慎重運転を呼びかける。

・法規講習会を行い運転の重点目標の推進をはかる。

・若年運転者に一日交通指導隊になつてもらい交通指導を行う。

・街頭の交通安全の呼びかけや指導を行う。

・交通指導車により巡回活動を行う。とくに夜間の事故防止のために夜間の巡回を重点に行う。

③飲酒運転の徹底追放

・各種会合を通して飲酒運転を呼びかける。

・家族のひと声運動を推進する。

心配される雪不足

—十年間の記録から—

樋口 猿田 俊蔵

私が気象観測に関係してから、もう十七年にもなりますが、昨年の暮れから今年にかけて冬期間は雪の少ない年は記憶にありません。なにしろ、山間部の積雪でさえも例年の半分、ところによって五分の一位で、山頂付近で六〇%から八〇%と言われており、四十七年前いわゆる昭和七年以来の小雪であります。

人々はそれを暖冬異変と呼んで温かい冬を歓迎していたようですが、この後順調に雨が降ってくれ

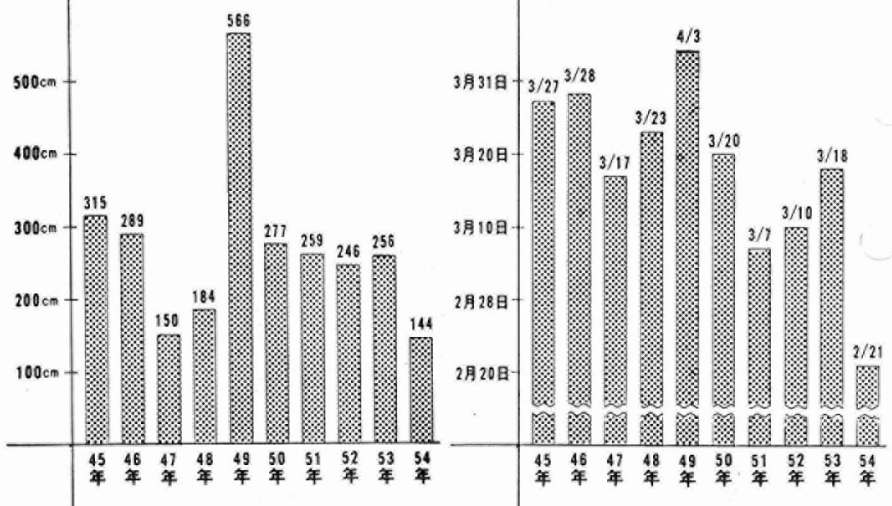
ないことには、水にまつわるいろいろな異変が起きてくることも予想され、心配の種が付きなところだ。

過去十年間にわたり、五城目地区の平坦部に降った雪の量は、別表にかかげたとおりですが、積雪量も少なかつたところに、雪の消える日もまた早く、二月十一日平坦地における雪はほとんどなくなっています。例年に比べ半月以上も早く、根雪のなかつたことを物語っています。

これからの降雨のいかんによつては、六月以降の生活用水や田畑灌漑用水など支障をきたすことが考えられますので、水はお互いの創意工夫で大切に使用するように注意すべきだと思っています。

積雪消雪日

降雪積算年別表



故鳥井森鈴さんに

勲五等瑞宝章

三月八日80歳の生涯閉じる

政府は三月二十三日の閣議で、三月八日亡くなった鳥井森鈴(80)日本民謡協会参与鳥井森鈴(80)日本民謡助二氏に、勲五等瑞宝章を贈ることと決めた。鳥井氏は、森鈴または義助の名前で町内の老若男女から親しまれ、全国的な規模で活躍してきたことは、みなさんすでにご承知のとおりである。



このたびの叙勲は、民謡界に尽された長年の功績が認められ、その対象になったものであるが、鳥井さんがまだ元気でいられたら、

昨年暮れから体の調子を整えるために入院加療中であつたが再起できず、八〇年の生涯を閉じたことは、誠に惜しみて余りある。

後年の氏はもっぱら後進の育成指導にあたられたが、その間、昭和三十一年に日本民謡協会から技能賞を受賞し、同四十五年は、町の学芸文化の発展に尽くした功により町功労者となり、同四十六年には、秋田民謡の発掘とその歌い手の育成指導につくした功績が高く評価され、秋田県文化功労者となつてゐる。そしてこのたびの叙勲となつたものである。

その喜びもまたひとしおのことだろう。明治三十二年三月、上樋口(岩野)に生まれた鳥井さんは、少年時代から民謡を歌うことにかけては他の追随を許さなかつた。大正二年三月、五城目尋常高等小学校卒業後農業に従事するかわら好きな民謡の修業に励んだ。上達するにつれ民謡歌手を志すようになり、当時の民謡界で先覚的な指導者であつた後藤桃水氏に師事し、本格的な修業を積んだ。才能豊かな鳥井さんは、日を短かくしてめきめき頭角を表し、大正十五年三月、日善レコード株式会社から自作の「秋田追分」をレコードに吹き込んでゐる。この曲は古くから当地方に伝えられた追分節を仕上げたもので、華麗さと明るさを合わせもって変身したこの曲は、県内はもちろん全国津々浦々まで愛唱された。氏はこの外にも各地に埋もれている民謡の発掘紹介にあたつた。それが、酒屋唄、タント節、木挽などであり、遊芸とみられていた秋田音頭、秋田万才、コッカラ舞子舞など、レコードの吹き込みや舞台の上に復活させ、これもまた全国的に普及させた功績は、民謡界の金字塔として今もさん然と輝いてゐる。

強くなるには

実験資料の分析から

水泳の田口氏豊富な話題で講演

金メダリスト

話術もダイナミック

町の教育委員会で、運動公園内に間もなく完成する温水プールにちなんで、四月二十日町民センターにおいて水泳講演会を開いた。

講師は、昭和四十七年に行われたミュンヘンオリンピックで、平泳ぎ(百メートル)金メダリストになった田口信教氏であった。

田口氏は自らの泳法とよく似たダイナミックな話術で、水泳の話題は十五年間のキャリアと、オリンピックの体験談、それに三十カ国を渡り歩いた海外の国内事情にも精通するなど、聴講する人々の心を満たすのに十分なものがあつた。講演内容をかいつまんでみると次のようなものであつた。

まず、いろいろな実験データを集め、それを分析しながら自分の資料として消化することである。自分は世

な精神力も強かった。現在の選手が仮りにこれと同一条件だとしてこれに勝つものは何かとなると技術の進歩としか言いようがない。毎日の練習の中で、研究が、技術の進歩となり、テクニクとなり記録の向上につながるようだ。人より先にならうとしたら、先に進む工夫をすることである。そのためは、一日二十四時間をど

外国事情を知るほど
すばらしい日本

また私は、これまで三十回ほど海外諸国に足を運ぶ機会があつたが、海外の生活をすればするほどいかに日本がすばらしい国であるかを知らされた。

イランでアジア大会があつたとき、パレヴィ国王を一見して君主国家体制を感じられた。

バスに同乗した韓国人が、外の風景を許可なく撮影したことで、バスを止めての車内検査であつた。撮影したフィルムは抜き取られカメラは床にたたきつけられた。

同じ国の民族でも、遊牧民はまるで犯罪者扱いで、小銃のこじりで突き回しての身体検査を目の当りに見て、その国情の厳しさを肌

見せかけのテレビアンテナ

また南米のコロンビアを訪れたときは、貧富の差の激しいのに驚いてきた。ブル付きの邸宅があるかと思えば、一方ではみすばらしいバラックの長屋があつたり、日本では想像のできないものであつた。

高速道路際の住宅にだけテレビアンテナがあり、不自然な感じがしたのでよく聞いてみると、政府からきてアンテナだけ取り付けて行つたという。国威の見せかけであつた。裏を返してみれば、テレビはもろん水道のない家がほとんどであつた。

ひねれどでてこない水

またある発展途上国では、水道工事が完成したところで蛇(じゃ)口から水を出してみせた。現地人はそれを見ておおいに驚いたところまではよかったが、夜陰にまぎ

れてその蛇口をかすめ取り、家に帰って蛇口をヒネってもヒネっても水がでてこなかったという笑話のような本当の話があつた。

の半兵衛、寝小便がいかによくないことか、恥かしいことか子どもに肌で感じさせるためときいてきた。家にも外にも子ども用椅子がないのも特徴的で、私たち日本人から見ればいかにも冷たく突き離れた教育を見て、お国柄とは言葉非常に厳しいものを感じてきた。

突き放した子どもの教育

そして西ドイツを訪れたときは子どものしつけの厳しさに驚いてきた。どこの国の子どもも同じで小さいときは、よく寝すぎておもらすをするようだが、ドイツの場合、スツツだけを取り替え敷布団(日本流で言えば)はそのまま、日毎悪臭は増すが、親は知らぬ顔

用者を見管理する立場などについて、質問を中心に中からいろいろ話し合いが行われ、意義のある講演会ならびに講習会を終つてゐる。室内温水プールのオープンはまだ流動的であるが、六月中には、町内のみならずからご利用いただけるのではないかと見られている。

子どもの日

県立博物館など入場無料

児童福祉週間五月五日から

今年には国際児童年です。これは

国際連合で、すべての子どもたちが

が幸福な生活を送るための権利を

守る「国際連合児童権利宣言」が

採択されてから、二十年になるの

を記念して定められたものです。

明日の世界を背負う子どもたちの

福祉向上のため、県や市町村をは

じめ関係機関などが一体となって

全県的な運動を展開します。

また、県では五月五日から十一

日までを「児童福祉週間」として

次のような行事を計画しています

ので、積極的な参加と利用をお願い

します。

◎五月二日

「父親と子のつどい

啓発街頭パレード 県民会館

◎五月五日(子どもの日)

秋田市広小路

県立博物館

大人・子ども共入場無料

子ども遊び大会

寒風山展望台

県立水族館

小・中学生入場無料

◎五月六日

子ども会春の一斉美化運動

◎五月十三日

子ども文化劇場

(人形劇・映画)

県立児童会館

◎写真募集

子どもをテーマにしたもの

募集期間 四月一日～五月十日

詳しくは県児童会館へ

電話 六二・七二



田口信教氏



講演会には五高からも90人参加した

実験資料を

自分のものとして消化

試合に勝つためにはいろいろな方法がある。これから私の体験を述べてみたい。

認識してもらいたい。

技術の進歩は

練習の積み重ねから

過去の人々より、現在の人が優れた記録を持っているのはどうしてなのか。昔の人は体格もよく、

いでは、いろいろな違いが出てくる。自負感の持つ重入さを

のようにな自分の生活に取り入れていくかあると思う。

今おかれている環境に甘える精神でなく、ちょっとした機会をと

らえ、生かし、悔いのない人生を思う存分送ってもらいたい。

田口氏の体験談はすなわち人生観であり、興味の深いものであつた。

中学校全県招待バレー 五一中チーム活躍

第八回男児南秋中学校バレーボール大会兼第五回全県招待バレーボール五城目大会は、四月二十一日と二十二日、広域体育館で行われた。

この大会は回を重ねるごとに参加チームが多くなり、今大会には男子十チーム、女子二十二チームが出場した。町内からは五城目第一中学校の男女、富津内中学校と杉沢中学校の女子チームが出場した。その中で、五一中男子と女子チームが活躍し、応援にかけつけた町内の人たちを喜ばせた。

準決勝で五一中男子は、前回優勝チームの能代一中を2対0で敗った北浦中と対戦したが、危なげない勝ちであった。決勝戦は城南中と能代二中を2対0で敗った鷹巣中と五一中の対戦となった。

五一中は調子に乗る鷹巣中に対して、力をだせないまま押しきられた。しかし、五一中男子チームは功守ともにバランスがとれており今後の活躍が期待できる。

杉沢中と富津内中の女子は、二回戦で敗退、五一中の女子は準決勝で、前回優勝している大潟中に敗れた。

▽男子

二回戦

五一中 2 15 12 15 14
1 7 1 15 4
— 秋田北中

準決勝

五一中 2 15 15 10
3 10 0 北浦中



五一中・鳥井キヤプテンのスパイク〜決勝戦〜

決勝

五一中 0 5 5 15 15
2 鷹巣中

▽女子

一回戦

五一中 2 15 15 6 4
0 弘戸中

富津内中 2 17 15 15 5
0 八郎潟中

杉沢中 2 15 12 15 15 6
1 上小阿仁中

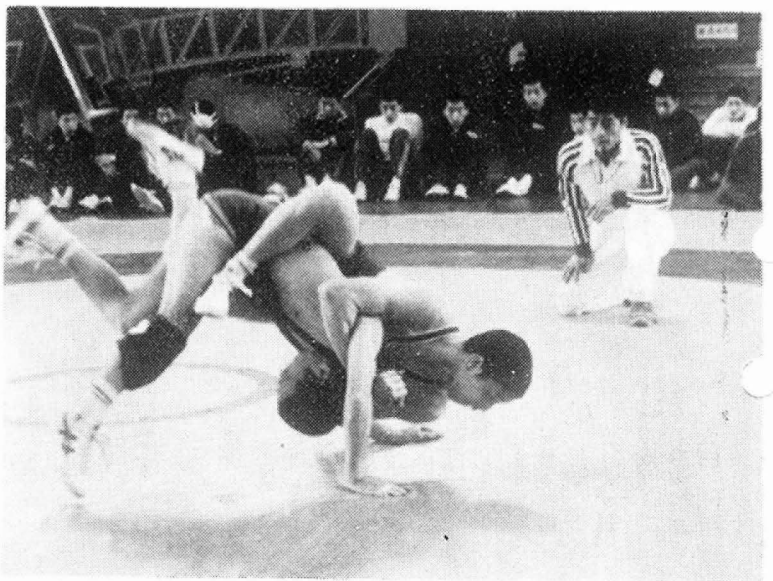
二回戦
五一中 2 15 15 3 5
0 船川中

富津内中 0 7 3 15 15
2 太平中

杉沢中 0 8 3 15 15
2 雄和中

三回戦
五一中 2 15 17 15 17
1 八竜中

準決勝
五一中 0 8 4 15 15
2 大潟中



波乱含みのスタートだったマツト上

高松宮杯高校レス

東北工大電子工初優勝

名門五高初戦飾れず

電子工高

早い攻めとパワーで圧勝

第十八回高松宮杯東北高校選抜レスリング大会が、四月二十九日広域体育館を会場に、地元五城目高校を含む東北各県から八高校が参加して行われた。

優勝候補の一角とみられていた五城目高校が一回戦で八戸工業に敗れるという波乱含みのスタートであったが、決勝は秋田経大附属高校と東北工大電子工高(宮城)と

と順当な対戦となった、しかし、電子工高の早い攻めとパワーに経大附属は、五二キロ級の田森が一矢を報いただけで、六対一と電子工高が圧勝し初優勝を飾った。

五高のポイント

メーカー体調くずす

初戦を飾れなかった五城目高校は、先の全国選抜新潟大会で七〇キロ以上の優勝者牧野満章選手を中心にのぞんだが、高熱でレギュラーを欠き、菅原金英君の減量

失敗で前半の大量得点も、後半スタミナ切れで逆転負けするなど、スコアこそ四対三の接戦だが、連続四選手が枕を並べるほど試合内容は完敗であった。

ただ、このあと二回戦に進めなことがはつきりしていながら、六五キロ級の野呂選手がフオール勝ち、七〇キロ級で工藤選手が判定勝ちをするなど、最後まで試合を捨てない態度は立派であったし、せめてもの救いであった。

大会全体としては、新潟選抜全国大会で優勝した光星高校(青森)がケガ人多く欠場したこと、地元五城目高校の初戦敗退などで例年の大会より盛り上がりを感じられなかった。

当日の成績は次のとおり。

▽一回戦

田島(福島) 4 13 秋田商
経大附 工 4 13 山形商
八戸工(青森) 4 13 五城目
東北工大電子工 7 10 宮古
(宮城)

▽準決勝

経大附 高 6 11 田島
東北工大電子工 5 12 八戸工

▽三位決定戦

田島 4 13 八戸工

▽決勝

東北工大電子工 6 11 経大附

F M リク エ ス ト ア ウー

広域体育館で公開録音

ゲストに金井タ子

NHK秋田放送局では、五月二十日(日)午後一時から広域体育館で「F M リク エ ス ト ア ウー」の公開録音を行います。

これは毎週土曜日午後三時十分から六時まで放送しているステレオ・リアル番組で、若者を中心とした県内の多くの音楽愛好家に親しまれ、支持されています。各地で公開録音して、日頃リクエストカードや放送でしか交流のない聴取者にじかに接し、親密になるとともに、放送への理解を深めてもらうというものです。

今回は本町を中心とした南秋田郡の人たちを対象に行われます。公開録音のほかに、金井タ子さん(歌手)をゲストに招いて、フィルムコンサートなども行われます。入場は無料です。



おしらせ

二級 管工事施工管理技士研修会

下水道技術検定

希望者はお早目にどうぞ

電線に注意しましょう

こいのぼりは電線から

はなれた場所

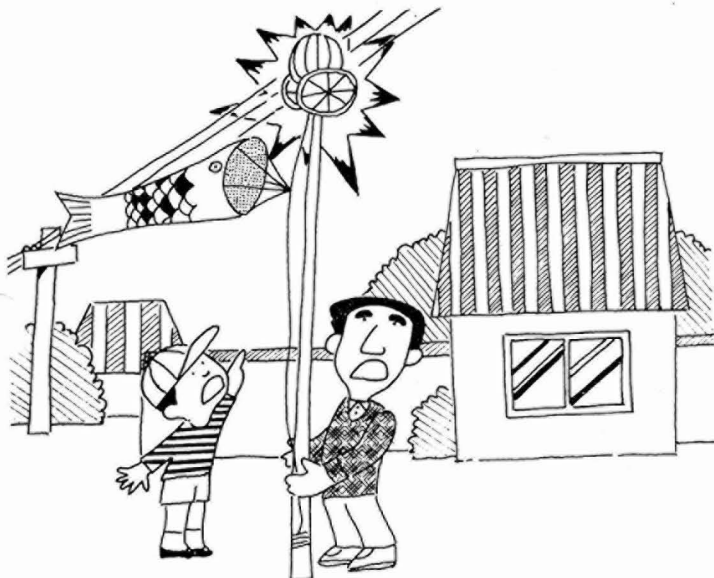
架空電線による感電事故の防止のために、次の点にご注意ください。

・こいのぼりが電線に巻きついたり、竿が電線に触れると危険です。電線から十分はなれた場所にたてましょう。

・テレビアンテナが倒れても、電線にふれないように、電線から十分はなれた位置を選びましょう。

・電線の近くで作業するときは、頭上の電線に注意しましょう。作業場付近に電線があるときは事前に東北電力へ連絡してください。

・電線の近くでたこあげやひこうきあそびはやめましょう。もしたこあげやひこうきが、電線にひっかかったときは、東北電力へお知らせください。



士・下水道技術検定」の技術者養成

成研修会を全国一斉に開くことにな

った。今年度は特に、全国国家

資格取得連合会と全各市町村、協

会組合団体の協力と、水道業、設

備業、土木業、下水道工業など

の関係者から強く要望されて特別

開講することになったもので、希

望者は次の内容をよく検討の上お

申込みください。

・昭和五十四年度受験、管工事施

工管理技師および下水道技術検

定研修会

一、期 日

六月七日から八月まで計六回

二、会 場

秋田市青年会館

三、時 間

・管工事施工管理技士

午前九時から午後一時

・下水道技術検定

午後一時から午後五時

ただし、昨年度登録済みで、再

び受験する方は、通信教育講座で

行う。

詳しいことについては、次の講

座係あてご連絡ください。

・連絡先

青森市安方二丁目九の二〇

全国建設管理協会

電話〇七五—四六五一

〇七五—三九八二

税金は納期限内に納めましょう

固定資産税第一期の

納期限は五月三十一日

納税通知書は、納税組合員の方

へは組合長を通じ、組合員以外

の方へは郵便で、五月十日頃まで

お届けいたしますので、納期限内

納付にご協力ください。

なお、二、三、四期分を前納し

ますと、納期前月数一カ月につき

一割の割合で前納報奨金が交付さ

れます。都合のつく方は、前納さ

れるようおすすめていただきます。

◎課税についての問合せ先

役場 税務課

不正大麻・けし撲滅運動

野生大麻は保健所へ連絡

五月一日から三十一日まで「不

正大麻・けし撲滅運動」の期間で

す。この運動は全国で行われるも

ので、秋田県では栽培時期をとら

え五月一日から一カ月間と定めま

した。

昨年の県内の大麻取締法違反は

一件、あへん法違反はありません

でしたが、麻薬の原料となる大麻

草は野生している場合があります

このような大麻・けしを発見した

ときは、保健所に通報してくださ

い。

老人ホームによせられた善意

四月十三日

てづくり 菓子

五城目町 味 好会

四月十四日

つくだに二箱 レコード

大川地区 加藤ハナエ

・四月二十二日

フナ 12kg

・四月二十九日

飯田川町つり同好会

フナ 10kg

・四月二十九日

八郎潟町南秋海友会

民謡、舞踊慰問

井川町民謡同好会

五城目町民謡同好会

・善意銀行預託者

・五万円

上山内 小林 甚助

（亡妻テル様香典返し）

・五万円

古川町 桜庭 チャ

（亡夫昭三様香典返し）

・三万円

高崎 匿名

（年金の一部を寄附したのも）

誕生

おめでとう

ございます

田町 斎藤 美晴

光悦 マサ

浅見内 松橋 響子

武比古 勇子

大川四区 八柳 七重

博 秀美

新畑町 栗山 信人

正一 孝子

西野 小玉さおり

正一 薫

下樋口 笹川 春花

徳彦 秋子

浅見内 猿田マユ子

竹美 ひで子

富田 石井美智也

六三 田鶴子

上寄崎 館岡重矢子

帝釈寺 憲一 和子

草皆 誠之 久子

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月

・八月

・九月

・十月

・十一月

・十二月

・正月

・二月

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月

・八月

・九月

・十月

・十一月

・十二月

・正月

・二月

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月

・八月

・九月

・十月

・十一月

・十二月

・正月

・二月

・三月

・四月

・五月

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月

・八月

・九月

・十月

・十一月

・十二月

・正月

・二月

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月

・八月

・九月

・十月

・十一月

・十二月

・正月

・二月

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月

・八月

・九月

・十月

・十一月

・十二月

・正月

・二月

・三月

・四月

・五月

・六月

・七月